



病院の理念 地域とともに世界を視野に
信頼される最善の医療を

基本方針

1.質の高い安全な医療 2.救急医療 3.国内外の医療救援活動
4.地域連携 5.教育・研修・研鑽 6.患者・職員満足度の向上



福岡赤十字病院

日本赤十字社

新任挨拶



消化器外科部長
永井 英司

この度、2017年4月1日付けで消化器外科部長として赴任いたしました。

私は1987年に九州大学を卒業し、直ちに同第一外科に入局しました。これまで消化器外科を中心に一般外科の研鑽を積んできました。九州大学に在籍していた1999年からは患者さんに**高品質、低侵襲**の医療を提供すべく内視鏡手術(腹腔鏡・胸腔鏡手術)に取り組んできました。特に食道癌、胃癌に対しては2010年以降進行がんを含めて全例(臨床試験参加例を除く)を対象としてきました。内視鏡手術は高齢者や併存疾患の多い患者さんにとってもメリットが大きく、これから高齢化社会に向けて益々重要になると思われまます。また、一見手術不能な腫瘍に対しても近年開発された有効性の高い新規抗悪性腫瘍薬を術前に投与し、縮小させてから手術に持ち込むなど**あきらめない治療**を実践してきました。

手術は患者さんにとって特別な出来事です。手術後の第二の人生をより良いものとするためにスタッフ一同頑張りますので手術の可否は別としていつでもお気軽にご相談頂ければ幸いです。



形成外科部長
瀨田 裕一

はじめまして。2017年4月より形成外科部長として赴任しました瀨田と申します。

長崎大学形成外科教室に所属しており、愛媛県立中央病院形成外科から赴任いたしました。supermicrosurgery と呼ばれる直径0.5mm以下の脈管を扱うマイクロサージャリーが専門ですが、当教室の特色として先天性疾患をはじめ広い分野での診療を経験してきました。本院の役割である地域医療への関わりとして外傷(切断四肢、顔面骨骨折等々)、褥瘡、難治性潰瘍、虚血肢などの治療と私の専門性が生かせる医療の両立を目標とし、地域医療に貢献したいと考えております。

形成外科の特色として、当院他科への紹介後の間接的な診療を通じて地域医療へ貢献する所存です。そして私の専門分野でもあるリンパ微小外科では800件を超すリンパ管吻合症例経験を活かし、忘れられた存在になっているリンパ浮腫治療への新たな道筋を提供したいと思ひます。頭のてっぺんから足の先までのDr's Drが形成外科であるとのモットーでありますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。



泌尿器科部長
柚木 貴和

このたび泌尿器科部長を拝命いたしました柚木貴和です。

私は2012年よりすでに5年間福岡赤十字病院泌尿器科に勤務しておりますが、前任の後藤健先生の退任に伴って泌尿器科部長の任を仰せつかることとなりました。

泌尿器科領域の中でも、私は尿路性器腫瘍、尿路結石症などに対する低侵襲な内視鏡治療に力を入れております。泌尿器癌手術(前立腺、膀胱、腎尿管など)におきましては、開腹手術はできるだけ行わず、徹底的に低侵襲な腹腔鏡手術を行えるように他院に先駆けて各種最新腹腔鏡術式を導入して参りました。また癌以外の腹腔鏡手術(尿管狭窄症、腎盂尿管移行部狭窄症、膀胱脱、副腎腫瘍など)も積極的に行っております。尿路結石症におきましては細径尿管鏡、細径腎盂鏡を用いたレーザー破碎術とESWLを駆使して、難度の高い腎尿管結石の治療を安全に行える体制を整えております。

患者様のご病状に合わせた根治性と生活の質を心掛けたバランスのよい治療をご提案させていただきたいと常々考えておりますので、何卒よろしくお願ひします。



糖尿病代謝内科部長
佐々木 伸浩

2017年4月1日より福岡赤十字病院糖尿病代謝内科部長に就任いたしました。

1996年徳島大学を卒業後、九州大学第二内科に入局、研修医2年を経て初めて糖尿病代謝内科医師として赴任したのも、大学での研究を終えて2007年に再度臨床に戻ったのも当院で、私の医師人生の半分以上を当院で過ごさせていただいております。近年の糖尿病薬の進歩は目覚ましく、以前に比べて治療しやすくなったと感じますが、まだまだ治療の難航する患者さんがいます。そういう患者さんにどういう治療やサポートが必要であるかを医療者の目線だけでなく、患者さん目線で考え、治療をサポートしたいと考えています。1週間教育入院の導入や、最近ではインスリンに対する深い理解を目的に血糖認識トレーニング入院を開始したり、CSII・CGMにも積極的に取り組んでおります。当院は様々な科を有しており、様々なニーズに応えることができる病院だと自負しております。糖尿病の治療のみならず、糖尿病患者さんにおいて生じた問題に、また、どこかの科に紹介したらいいのか分からないという場合もどうぞ当科に遠慮なくご相談ください。よろしくお願いいたします。



眼科部長
大石 誠一郎

2016年4月より眼科に勤務しております大石と申します。

医局は九州大学眼科に所属しており、専門は網膜硝子体、緑内障、眼科一般です。昨年度同様、眼科専門医2名体制で眼科疾患全般にわたり診療を行っております。近年増加している糖尿病網膜症や緑内障に対して、専門性をもつ的確な診断と最適な治療を実践してきました。今年度は網膜剥離や急性緑内障発作などの急患にもさらに力を入れて対応していきたいと思っています。

手術は糖尿病網膜症などの網膜硝子体手術と白内障手術を中心に緑内障手術や外眼部手術を入院管理下で行っております。入院中は内科などの他科との連携をはかり、全身合併症のある方も安心して治療を受けて頂けるよう心掛けています。今後も先生方と密に連絡をとりあいながら、少しでも地域に貢献できるよう頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。



放射線科部長
松尾 芳雄

2017年4月1日付けで福岡赤十字病院に赴任しました放射線科の松尾と申します。

昨年までの3年間は山口赤十字病院に勤務しておりましたが、それ以前は九州大学病院におりました。

大学では胸部画像を専門としておりましたが、現在は全身の診断に携わらせて頂いております。技術の進歩により、非侵襲的な画像検査によってわかることも増え、医療の中での役割も大きなものとなっていると感じております。

近隣医療機関の皆様からの検査依頼も積極的にお引き受けいたします。

当科には5名の放射線科医が勤務しております。責任の重さを感じながら、多くの方の診療に貢献できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



麻酔科部長
生野 慎二郎

2017年4月1日付けで麻酔科へ赴任致しました生野と申します。

3月まで福岡大学筑紫病院麻酔科に勤務しておりました。筑紫病院ではクローン病や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患の手術、脳血管内手術、持続腕神経叢ブロックを併用した肩の手術の麻酔を多く担当してきました。

近年、抗凝固療法中で硬膜外麻酔や脊髄くも膜下麻酔が施行できない患者さんが増加していますが、当院では可能であれば超音波ガイド下神経ブロックにより出血に注意を払い循環動態の変動を最小限に抑えた麻酔管理を行っています。最近では90歳以上の患者さんの手術も珍しくなくなりましたが、新しい麻酔薬や麻酔モニターにより安全な麻酔管理が可能となりました。当院では透析中の患者さんをはじめとして重症の患者さんの手術も多く、医療安全(患者さんの安全)に最大の注意を払っていく所存でございます。これからどうぞ宜しくお願いいたします。

専門外来 ものわすれ相談窓口

入退院支援課 認知症看護認定看護師 宮原 あや

厚生労働省は、2025年に認知症患者数が65歳以上の高齢者の5人に1人になると推計しています。当院でも入院患者の約半数が高齢者になり、認知症高齢者の独居、老老・認認介護など社会的な背景も複雑化し、疾患治療だけでは退院できない方の割合が増えてきました。入院は生活環境を見直す機会になりますが、療養環境の調整のために転院を含めた入院生活が長期化することは、認知症患者にとって大きなストレスになり認知症の行動・心理症状合併のリスクにもつながります。



地域で生活ができている外来通院の時点で、ものわすれの症状や認知症に関する相談に応じ、早期受診への支援や問題解決に向けた方策の検討が必要だと考え、2016年10月から「ものわすれ相談窓口」を開始しました。相談内容はものわすれに関する受診の相談や、介護家族の認知症症状に対する対応方法など、相談者によって様々です。

相談窓口は認知症看護認定看護師が担当し、相談内容に応じてMSWや外来主治医・看護師、他分野の認定看護師、地域包括支援センター等と連携しながら継続支援を行っています。これからも認知症に関する様々な悩みや困りごとに対処し、認知症があってもその人らしい生活を継続できるよう、サポートの一手を担っていけるよう努めていきます。



ものわすれ相談窓口 (※予約制)

対象 当院に通院中の患者と家族

担当 認知症看護認定看護師

相談日 毎週木曜 10:00~13:00

※当院入院予定で認知症がある方は、ご希望があれば事前に面談を行いますのでご相談下さい。

連絡先 福岡赤十字病院 代表 092-521-1211 「ものわすれ相談」とお伝えください。

退任のご挨拶



糖尿病代謝内科部長
筒 信隆

私は当院の糖尿病代謝内科部長をしておりました筒信隆です。1989年から28年余りにわたって糖尿病代謝関係の診療を行ってまいりましたが、2017年3月をもって定年退任いたしました。この間、作用機序の異なる経口血糖降下薬や注射薬が次々に使用可能となり糖尿病治療のガイドラインも変更されてきました。しかし今でも、糖尿病治療薬による肥満と低血糖が臨床上の課題として指摘されています。その解決には食事、運動療法が重要で、そのため糖尿病治療の基本は糖尿病教育と考えています。糖尿病合併症には細小血管障害、大血管障害の他にがん、骨粗鬆症、認知症、歯周病などの新たな合併症にも注目されるようになりました。糖尿病は、ますます全身に配慮した診療が求められています。「地域包括ケアシステム」という新しい医療体系が模索され病院機能の分化がさらに進むと予想されます。糖尿病診療の地域の中核病院として機能するには円滑な連携が不可欠です。さらなる御支援と激励を賜りたいと思います。私は今後も福岡赤十字病院に臨床顧問(糖尿病内科)、外来化学療法室長として勤務の予定です。今後とも宜しくお願いいたします。



泌尿器科部長
後藤 健

2017年3月をもって福岡赤十字病院を退職いたしました後藤健です。2008年に泌尿器科副部長として当院に着任し、2009年から部長として泌尿器科診療を行ってきました。9年間にわたり地域の先生方には大変お世話になりました。ここに深く感謝申し上げます。

おかげさまでこれまで充実した日々の診療業務を送ることができましたが、私にとって大きな転機となったのは、2011年の東日本大震災において日赤救護班の班長として現地で活動させていただいたことでした。これを契機として病院内外の救護活動訓練への参加や、そのほか緩和ケアや医療安全など泌尿器科以外の業務にも多数携わらせていただくことができました。このことが自分にとってかけがえのない財産となっています。

今後、父が1974年にクリニックを開設した中央区舞鶴の地で新たに泌尿器科の診療をいたします。これまでの経験を生かしながら、さらに地域の先生方と連携して、患者さんの立場に立ったきめ細かい医療を実践していきたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



耳鼻咽喉科部長
福島 淳一

私は2012年4月に福岡赤十字病院に赴任し、2017年3月末をもちまして退職となりました。当院の耳鼻咽喉科は、地域に根差した施設として耳鼻咽喉科の一般診療はもちろん、拠点病院として再建まで含めた頭頸部癌治療まで幅広い診療が求められました。私自身はこれまで大学病院での勤務が長く、耳鼻咽喉科の幅広い診療を行う機会は多くありませんでした。しかしこの5年間、経験豊かな同僚に恵まれ、部長という立場ではありましたが多くの事を学び診療することができました。地域の先生方からは様々な患者さんのご紹介をいただき、耳鼻科医として育てていただきました。少しでも皆様のお役に立てた部分があれば、幸甚に存じます。

2017年4月からは、福岡赤十字病院耳鼻咽喉科の常勤医師が不在となります。耳鼻咽喉科医師、指導医の減少に伴うもので地域の先生方には多大なご迷惑をおかけすることとなります。しばらくは非常勤医師による限定的な診療となりますが数年後には常勤医師による耳鼻咽喉科診療が再開できると思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

当院耳鼻咽喉科における診療体制の変更について

当院耳鼻咽喉科は、2017年4月1日から常勤医師不在となるため、非常勤医師によって火曜日、木曜日の午前中のみ完全予約制にて外来診療を継続いたします。

また、当院入院中の患者さんの耳鼻咽喉科診療を上記診療時間(火・木曜午前)に優先的に行う必要があるため、入院、手術を必要とする患者さんの受け入れは困難となります。このため、紹介状の有無に関わらず予約なしでの受診はできません。大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

福岡赤十字病院 院長 寺坂 禮治



地域とともに！

登録医紹介

当院の基本理念である「地域とともに世界を視野に信頼される最善の医療を」行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方をご紹介します。今回は『ながら医院・うめ野消化器肛門科外科クリニック』です。

医療法人 ながら医院

得意分野：脳血管障害・神経疾患（パーキンソン病・脊髄小脳変性症・筋萎縮性側索硬化症等）

先生にインタビュー

アピールポイントについて

脳卒中の後遺症以外に、手足の動きが悪くなるパーキンソン病などの神経変性疾患についても積極的にリハビリテーションを行っており、また通院が難しい方には訪問リハビリを行っています。さらに特に疾患がなくても、高齢のため手足が動かしづらいなど日常生活にお困りの方には、体の動きを少しでも維持できるようにリハビリの要素を強化したデイケア・デイサービスを同じ館内で行っています。

当院との地域連携についてどのようにお考えですか？

患者さん・ご家族ともに安心感があり、夜間でも受け入れて頂けるので非常に心強いです。

地域の皆様にメッセージをお願いします

住み慣れた地域で生活を続けていけるように、医療・リハビリテーション・介護保険サービスを一体として提供することでお手伝いいたします。お困りのことがありましたらお気軽にご相談下さい。



基本情報

- ◎ 院長：長柄 均
- ◎ 住所：福岡県福岡市博多区東比恵3丁目20-1
- ◎ TEL：092-411-2358
- ◎ FAX：092-411-2557
- ◎ 診療科目：内科・神経内科・消化器内科・小児科・リハビリテーション科
- ◎ 診療時間：（午前）午前9:00～午後1:00（受付 午後0:30まで）
（午後）午後2:00～午後6:00（受付 午後5:30まで）
*木曜日 午後から院長（長柄）は往診・訪問診療のため休診です。
- ◎ 休診日：日曜、祝日、土曜日午後

うめ野消化器肛門科外科クリニック

得意分野：消化器内科・肛門外科（他にも外科・内科等幅広く対応致します）

先生にインタビュー

アピールポイントについて

当クリニックは在宅支援診療所なので、診療時間中はもちろん、時間外でも患者さんからの相談に対して、24時間いつでも電話対応しています。薬のことについての相談や、当クリニックに全然かかったことがない人から「お聞きしていいですか？」なんて電話がかかってくることもありますね（笑）。もともとの専門は消化器外科ですが、外科でも内科でもできるだけ幅広く、診れるものは診るように心がけています。

当院との地域連携についてどのようにお考えですか？

もう10年以上のお付き合いになりますが、このあたりの方は交通の便からも日赤を希望される方が多いので、第一に紹介しています。

地域の皆様にメッセージをお願いします

第2・第4日曜日の午前中も診療所は開けていますし、時間外でも何か急を要することがあれば、お電話頂ければできるだけ対応しますので、いつでもご連絡下さい。



基本情報

- ◎ 院長：梅野 寿実
- ◎ 住所：〒811-1362 福岡県福岡市南区長住3丁目1-27
- ◎ TEL：092-554-2878
- ◎ FAX：092-401-2879
- ◎ 診療科目：消化器内科・肛門外科・外科・内科・リハビリテーション科
- ◎ 診療時間：月・火・木・金 午前9:00～午後6:00
水・土 午前9:00～午前12:30
第2・第4日曜日 午前9:00～午前12:30
*昼休み 午前12:30～午後2:00
- ◎ 休診日：日曜、祝日

お詫びと訂正

前回発行号（2017年1月号）の登録医紹介コーナーに掲載させて頂いた内容について、記載に誤りがありました。深くお詫び申し上げますと共に、訂正いたします。

訂正箇所	誤	正
2017年1月号 ふくじゅそう 5ページ 地域とともに！登録医紹介	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療法人 松本整形外科医院 ■ ◎ 診療科目：整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科 ◎ 診療時間：午前9時～12時（新患受付は11:30まで） 午後14時～18時（新患受付は17:30まで） ◎ 休診日：午後14時～18時（新患受付は17:30まで） ※木・土は午後休診 日曜、祝日、木曜・土曜午後 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 松本整形外科医院 ■ ◎ 診療科目：整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科 ◎ 診療時間：午前9時～12時（新患受付は11:30まで） 午後14時～18時（新患受付は17:30まで） ※木・土は午後休診 ◎ 休診日：日曜、祝日、木曜・土曜午後

福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表

○：新患若しくは再来 ▲：午後再来（予約のみ） ●：（予約のみ） 再来は原則予約制です。

平成 29 年 5 月 1 日現在

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野	備考
総合診療科	居原 毅	○				○	内科一般・生活習慣病・睡眠時無呼吸症候群	
	林 武生	○				○		
	平峯 智	○				○		
消化器内科	青柳 邦彦			▲	○		消化管（食道・胃・小腸・大腸）	副院長
	平川 哲哉			▲	▲			部長
	工藤 哲司			▲	○			副部長
	近藤 雅浩	▲				○		
	末永 文彦	○				▲		
	野村 亜貴子			▲		○		
腎臓内科	野坂 佳愛			○	▲		腎臓	
	満生 浩司	▲	○	○				部長
	黒木 裕介			▲	○			副部長
	中井 健太郎	▲				○		
糖尿病・代謝内科	中川 兼康	○	▲				糖尿病	
	伊豆丸 堅祐	○	▲					
	大澤 めぐみ					●		
	佐々木 伸浩		○	○		○		部長
	川本 徹	○		●	●			
循環器内科	井本 真由美	●	●		○		循環器	
	中尾 晶子	▲		●	●			
	坂本 和可子					●		
	中川 瑞穂		○	○		○		部長
	目野 宏		○	●	●			副院長
	古財 敏之	○				●		
	松川 龍一				○			
	栗林 祥子				○			
	増田 征剛				○			
	甲木 雅人				●			
呼吸器内科	徳留 正毅				○		呼吸器一般	
	松本 翔							
	石丸 晃成							
	西村 遼平							
肝臓内科	河口 知允	○			○	○	肝疾患一般 ※水曜日は隔週交代制	部長
	工藤 国弘				▲			
	山下 翔							
血液・腫瘍内科	長谷川 真紀						血液疾患一般、 固形腫瘍の化学療法 ※水曜日は隔週交替制	部長
	早田 哲郎		○	○		○		副部長
	西澤 新也	●				○		
	土屋 直壯	○				○		
脳神経内科	谷本 一樹		○			○	脳卒中・神経疾患	部長
	河野 一郎		○			○		副部長
	坂本 佳治		○			○		
膠原病内科	山中 育未						脳卒中	部長
	北山 次郎	○	○					
	三本木 良紀	○			○			
感染症内科	岡田 卓也				○		感染症一般 ※水曜日は隔週	部長
	北村 泰佑							
外科	井上 靖	▲	●	○		○	一般外科、 消化器外科、肝胆膵外科、 乳腺・内分泌外科、 呼吸器外科、 腹腔鏡下・胸腔鏡下手術、 腎移植、腎不全外科、 ERCP、PTCD、EST	部長
	甲斐 達也			▲				
	石丸 敏之	○				▲		
	鎗水 彰			●				
	有田 康佑							
	寺坂 禮治							
	中房 祐司	○	○		○	○		院長
	永井 英司	○	○		○	○		副院長
	本山 健太郎	○	▲					部長
	小島 雅之	○			○			副部長
	山元 啓文	○			○			副部長
	井上 重隆	○			○			副部長
	小倉 康裕	○			○			副部長
	堤 宏介	○			○			
	錦 建宏	○			○			
永松 伊織	○			○				
心臓血管外科	林 早織				○	▲	心臓外科、 大動脈瘤、血管外科	副院長
	古賀 智子				○	○		部長
	中房 智樹				○	○		副部長
	本庄 由佳				○	○		
	乳 腺 担 当	○	○	○	○	○		

※急患の方はこの限りではございません。

●診療開始時間……午前8時40分

●平日時間外及び休日急患診療（当直体制）

○内科系※ ○外科系※ ○循環器科 ○産婦人科

※当直体制のため必ずしも専門医の診療は受けられないことがありますのでご了承ください

○小児科 平日（祝日を除く）17時～19時30分

土曜日（祝日を除く）13時～19時

【備考】急患以外の一般の患者さんにつきましては、土、日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は休日です

再来は原則予約制です。出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。

☎092-521-1211（代表）

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野	備考
脳神経外科	継 仁	○				○	脳神経外科疾患	部長
	吉岡 努					○		部長
	平田 陽子	○						
	松田 浩大							
皮膚科	竹下 弘道	○	○	○	○	○	一般、尋常性乾癬、 アトピー性皮膚炎	部長
	木村 七絵	○	○	○	○	○		
眼科	大石 誠一郎	○	○	○	○	○	糖尿病性網膜症、白内障、 緑内障	部長
	瀧 瑠美子	○	○	○	○	○		
整形外科	泊 真二	○				○	脊椎・脊髄外科 関節外科・リウマチ 手の外科・外傷・一般	部長
	伊藤 康正	○				○		部長
	由布 竜矢	○				○		副部長
	安原 隆寛	○				○		副部長
	岡 和一朗	○				○		副部長
	島田 英二郎	○				○		副部長
産婦人科	國分 康彦	○				○	産婦人科 産婦人科 産婦人科 産婦人科 産婦人科 産婦人科	部長
	西田 眞	○				○		部長
	遠城 幸子	○				○		副部長
	一戸 晶元	○				○		
	和田 智子	○				○		
	吉田 紘子	○				○		
小児科	平川 真梨子	○				○	循環器 腎疾患 新生児 一般・腎疾患 一般・神経 一般・循環器 一般・腎疾患 神経 循環器（第1金曜日午後のみ）	部長
	愛甲 碧	○				○		部長
	嶋田 幸世	○				○		副部長
	泉 りりこ	○				○		副部長
	原田 達生	○				○		
	波多江 健	○				○		
耳鼻咽喉科	久保 鋭治	○				○	耳鼻科一般 ※完全予約制（院内紹介のみ）	部長
	檜山 麻衣子	○				○		部長
	高田 結	○				○		副部長
	中島 康貴	○				○		
形成外科	西村 真直	○				○	再建外科・外傷・先天性疾患	部長
	非常勤（神経再来）					○		部長
	非常勤（循環器再来）					○		副部長
	非常勤（循環器再来）					○		
泌尿器科	演田 裕一	○				○	尿路結石、排尿機能障害、 尿路器腫瘍、 尿路感染症、腹腔鏡手術	部長
	柚木 貴和	○				○		部長
	秋武 正和	○				○		
	河野 将和	○				○		
精神科	平井 良樹	○				○	一般・行動療法・強迫性障害 ※完全予約制、新患は月・水・金	部長
	岡部 彩美	○				○		部長
	非常勤					○		副部長
	非常勤					○		
歯科・ 歯科口腔外科	芝田 寿美男	○	○	○	○	○	一般歯科、口腔外科 （再来は完全予約制）	部長
	左坐 春喜	○	○	○	○	○		副部長
放射線科	榊山 哲郎	○	○	○	○	○	検査依頼（CT・MRI・RI等）のみ・ 電話予約制	部長
	榊山 哲郎	○	○	○	○	○		部長
	榊山 哲郎	○	○	○	○	○		部長
	榊山 哲郎	○	○	○	○	○		部長
	榊山 哲郎	○	○	○	○	○		部長
	榊山 哲郎	○	○	○	○	○		部長
麻酔科	榊山 哲郎	○	○	○	○	○	術中管理	部長
	榊山 哲郎	○	○	○	○	○		部長
	榊山 哲郎	○	○	○	○	○		部長
	榊山 哲郎	○	○	○	○	○		部長
病理診断科	榊山 哲郎	○	○	○	○	○	人体病理一般	部長
	榊山 哲郎	○	○	○	○	○		部長
検査部	榊山 哲郎	○	○	○	○	○	検体検査管理	部長
	榊山 哲郎	○	○	○	○	○		部長
救急科	榊山 哲郎	○	○	○	○	○	救急（各種中毒疾患含む）	部長
	榊山 哲郎	○	○	○	○	○		部長
健診部	榊山 哲郎	○	○	○	○	○	人間ドック・健康診断・循環器	部長

●受付時間 月曜日～金曜日（初診・再診）8:10～11:00

※下欄に記載のない診療科・曜日については上記通りの受付となります

●総合診療科	（初診）	木曜日のみ内科担当医による交替制です。
●呼吸器内科	（初診・再診）	月・水・木・金のみ
●心臓血管外科	（初診・再診）	火・木のみ
●脳神経外科	（初診・再診）	水曜日は手術日とさせていただきます
●皮膚科	（初診）	月 8:10～10:00（火～金は通常通り）
	（再診）	完全予約制
●眼科	（初診）	火・木 8:10～10:00（月・水・金は通常通り）
	（再診）	完全予約制 ※第1・3・5火曜日は新患のみ
●整形外科	（初診・再診）	木 8:10～10:00（月・水・金は通常通り）
		火曜日は手術日とさせていただきます
●産婦人科	（初診・再診）	火・木 8:10～10:00（月・水・金は通常通り）
●耳鼻咽喉科	（初診）	完全予約制
●精神科	（初診）	月・水・金のみ（完全予約制）
	（再診）	完全予約制
●歯科	（再診）	完全予約制

患者さんの紹介につきましては地域医療連携室で承ります。

（時間外・土日祝日）につきましては夜間受付に切り替えて24時間体制でお受けします

専用 TEL ☎0210-521-993 専用 FAX ☎0120-521-992

病院管理者【院長】寺坂 禮治【副院長】河野 博之、中房 祐司、目野 宏、青柳 邦彦【副院長兼事務部長】古澤 智久【看護部長】松永 由紀子
平成 29 年 5 月発行（第 38 号）福岡赤十字病院企画推進課 〒815-8555 福岡市南区大楠 3 丁目 1 番 1 号 TEL 092-521-1211 URL http://www.fukuoka-med.jrc.or.jp